回復期リハビリテーション病棟における実績等について

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者における回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳

回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳		人数	比率
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	25 人	41.0%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は２肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	33 人	54.1%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	1 人	1.6%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0 人	0.0%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	2 人	3.3%
6	その他	0 人	0.0%
回復期リハビリテーション病棟　総退棟数		61 人	－

【集計期間】令和８年７月１日～令和８年９月 30 日

② 回復期リハビリテーション病棟における直近のリハビリテーション実績指数

“退棟時のＦＩＭ運動項目の得点から、入棟時のＦＩＭ運動項目の得点を控除したもの”の合計	“各患者の入棟から退棟までの日数を、厚生労働大臣が定める日数の上限のうち当該患者の入棟時の状態に応じたもので除したもの”の合計	実績指数
2,960	59.69	49.59

【集計期間】令和８年４月１日～令和８年９月 30 日

以上の通りとなります。

小平中央リハビリテーション病院　病院長